日刊建設通信新聞(2024年10月17日付 3面掲載)

モビリ 社会連携研究部門を設置】 【オリコンと東大 都市街路スマート



社会連携研究部門の関係者

両者が持つ英知を結集して、 路スマート・モビリティ学」社 会連携研究部門を設置した。 へきな変革期にあるモビリテ

Ų

く

は16日、

東大生研に「都市街

ツと東京大学生産技術研究所

オリエンタルコンサルタン

ディバイドのない社会」の実 現に貢献していく。設置期間 スが移動できるモビリティー 000万円。 研究活動費の総額は約1億1 は2028年3月31日まで。 都市街路スマート・モビリ

データ利活用の基礎理論と、 の交通マネジメントのため、 も考慮した新たな都市内街路 ボードや自動運転技術の導入 通手段に加えて、電動キック ティ学では、既存の都市内交 オリコンと東大 都市街路スマート・モビリティ学

礎的な理論と技術を体系化 新たな都市内街路の計画・交 ィーのスマート化に対応した 通マネジメントに関連する基 快適に環境・人・まちにやさ 「自由に自立して安全・ 皆が、モノが、サービ |実現に向けた技術を体系化す トモビリティ推進室室長▽若松美 る。都市内街路の新たな交通 S D G s り、都市内街路のリ・デザイ マネジメントを実装するため 標)やインクルーシブ社会の ン、スマート・モビリティー に必要な技術の体系化も図 の実現手法を解明する。 連携体制は次のとおり。 オリエンタルコンサルタンツ〉 (持続可能な開発目

〈東大生研〉

羽佐田紘之特任助教。 三特任准教授(同)▽烏海梓特任間裕大特任准教授(同)▽平岩洋 助教(同)▽池谷風馬特任助教▽ 大口敬特任教授 (兼務) マ本 副次長。 部副部長▽梅田祥吾同交通政策部 主幹▽渡部数樹関東支社交通政策 弥同スマートモビリティ推進室副 竹平誠治事業推進本部スマー